

本 会 掲 示 板

次期会長・評議員選挙結果

先に実施した次期会長・評議員（半数改選）選挙の開票を7月26日に行った。有権者は1,163名、投票数は262通（無効2通）であった。開票結果は以下の通りである。

(次期会長選挙結果)

松下 正	92票	無効	4票
菅 滋正	82	白票	9票
尾嶋 正治	73		

(次期評議員選挙結果)

大門 寛	84票	無効	0票
鎌田 雅夫	81	白票	1票
柳下 明	77		
飯田 厚夫	73		
岩崎 博	66		
並河 一道	66		
籠島 靖	62		
小林 克己	62		
高橋 敏男	62		
中川 和道	59		
若槻 壮市	58		
朝倉 清高	57		
大野 英雄	56		
曾田 一雄	56		
高田 昌樹	56		
横山 利彦	55		
宇田川康夫	54		
大熊 春夫	53		
繁政 英治	52		

評議員会はこの開票結果に従い、次期会長・評議員を以下の通りとした。

次期会長（任期：2003. 1. 1-2004. 12. 31）

松下 正

次期評議員（任期：2003. 1. 1-2004. 12. 31）

朝倉 清高 飯田 厚夫 岩崎 博 大野 英雄
 籠島 靖 鎌田 雅夫 小林 克己 曾田 一雄
 高田 昌樹 高橋 敏男 大門 寛 中川 和道
 並河 一道 柳下 明 若槻 壮市

次期も引き続き評議員である者（任期：2002. 1. 1-2003. 12. 31）

雨宮 慶幸 安藤 正海 太田 俊明 菊田 惺志
 小杉 信博 坂井 信彦 佐々木 聡 下村 理

辛 埴 寿栄松宏仁 関 一彦 早川慎二郎
 藤森 淳 水木純一郎 渡辺 誠

第16回年会・合同シンポ

第2回実行委員会

2002年7月19日(金)、イーグレひめじで開催。

各会場の決定と設備の確認、開催準備スケジュール、開催要項、企業展示等について検討した。

第70回幹事会

2002年7月27日(土)、東大化学教室で開催。

次期会長・評議員選挙結果、第7回学会奨励賞、学会の会計等について検討した。

第63回編集委員会

2002年8月5日(月)、名大VBLで開催。

Vol. 15, No. 4の評価、No. 5以降の編集方針等について検討した。

第8回日本放射光学会将来計画検討特別委員会

2002年8月31日(土)、東大化学本館会議室で開催。

これまでの議論を確認し、極紫外・軟X線高輝度光源計画に関する経緯、文科省に提出したオールジャパンで策定した光源仕様の統一案を確認した。そのデザインレポートは、近いうちに出版される予定。さらに物構研の将来計画の状況を検討し、特別委員会の報告書のまとめ方を検討した。

第55回評議員会

2002年9月19日(木)、東大山上会館会議室で開催。

各幹事報告の他、次期会長・評議員選挙結果、第7回学会奨励賞、特別委員会活動報告、第16回年会・合同シンポ準備状況、学会の会計等について審議した。

第54回評議員会議事録

日時：2002年4月20日(土) 13:30~15:30

場所：東京大学化学本館 5F 会議室

出席者：大隅一政、太田俊明（会長）、大柳宏之、尾嶋正治、菊田惺志、坂井信彦、佐々木 聡、藤森 淳、宮原恒显、村上洋一、村田隆紀、渡辺 誠 各評議員
 河田 洋（行事幹事）、木下豊彦（庶務幹事）、曾田一雄（編集幹事）、平谷篤也（渉外幹事）、西野（事務局）

欠席者：雨宮慶幸、安藤正海、石川哲也、植木龍夫、宇理須恒雄、神谷幸秀、小杉信博、小谷章雄、佐藤 繁、下村理、辛 埴、寿栄松宏仁、菅 滋正、関 一彦、難波孝夫、早川慎二郎、水木純一郎、八木直人（会計幹事）

議事：

（審議事項）

1. 第49回評議員会で決定した通り、尾嶋正治評議員に議長をお

願いました。

2. 木下庶務幹事より、本会議は出席者数が細則に定められている定足数(過半数)以下の12名であり、評議員会として成立しないことが報告された。続いて過去に不成立となった例(第33回、第43回評議員会)に倣い、本会議の議事録(案)を次回評議員会で承認してもらうことで、学会活動を潤滑に進めるよう対処したい旨の提案があった。それに加えて、期日が限られている事項は、速やかに書面で評決をとるべきだという出席評議員からの意見があり、本会議の重要案件を欠席評議員にお送りしご検討いただくこととした。今後はこのようなことの無いよう、必ずアンケート等で日程を調整することを確認した。
3. 第53回評議員会議事録(案)を承認した。第15回総会議事録(案)については、項目5.の名誉会員の会長年度を削除することで承認した。
4. 木下庶務幹事より前回評議員会以降の入会申込者の一覧が提出され、正会員25名(うち学生18名)の入会を承認した。さらに退会届(正会員11名(うち学生5名))に関する報告があった。その結果、現在の会員数は正会員1,173名(うち学生129名)、賛助会員58社(63口)となった。この件については、欠席された評議員に「会員異動」名簿を送り、承認していただくこととした。
5. 木下庶務幹事より次期会長・評議員選挙の実施要綱に関する報告があった。本会議は、雨宮評議員に選挙を担当していただくことを承認した。また、選挙結果を提出するのは、8月の評議員会で、その報告を掲載する学会誌第15巻5号は、9月30日に発行されることを確認し訂正した。この件についても、欠席された評議員に「実施要綱」の資料を送り、承認していただくこととした。
6. 太田会長より第7回日本放射光学会奨励賞の公募に関する報告があり、今回から提出書類に「業績リスト」を加えることにした旨の説明があった。出席評議員より「自薦を奨励するよう応募要領の書き方を工夫すべきである」、「主要論文別刷が「2編以内」では少ないのではないか」という意見があった。意見に従い公募記事の文章を訂正し、学会誌に掲載することとした。この件についても、欠席された評議員に「学会奨励賞募集」記事を送り、承認していただくこととした。
7. 太田会長より第7回将来計画検討特別委員会議事録が提出され、同委員会の活動の現況および今後の展開に関する報告があった。それを受けて、尾嶋評議員より東大、東北大、KEKによる検討会議での議論の経緯および行政との関係等について補足説明があった。この件についても、欠席された評議員に議事録を送り、承認していただくこととした。
8. 平谷渉外幹事より放射光学会年会・合同シンポ見直し会議の議事録(案)が提出され、議論の経緯に関する報告があった。出席評議員からはとくに、主催学会員、共催団体員、非会員の登録料を区別すること、および名札の色を変える、こと等について意見があった。共催施設職員の参加資格については、各施設に共催団体職員、それ以外の人(非会員)の区別をしていただくこととした。名札の色を変えることについては、組織委員会ですらに検討することとした。また、学生の参加費についても明記すべきだという意見があった。なお、

この議事録の記載事項を各施設が持ち帰って、それぞれの施設の承認を受けているのか、という質問があり、平谷幹事は5月中旬の組織委員会の前までに、各共催団体に確認することとした。

9. 平谷渉外幹事より、原子衝突研究協会、第15回マイクロプロセス・ナノ工学国際会議組織委員会、計測自動制御学会、真空協会、XAFS研究会、物理学会からの協賛依頼に関する報告があり、これを承認した。この件についても、欠席された評議員に協賛依頼団体のリストを送り、承認していただくこととした。

(報告事項)

1. 八木会計幹事の代理で木下庶務幹事より会費未納状況に関する報告があった。
2. 曾田編集幹事より、編集委員会での検討事項、とくに学会誌「放射光」が本年度から年6回発行になったので、印刷費との関係から各号のページ数の見積りに沿って刊行する旨の報告があった。
3. 河田行事幹事より、第15回年会・合同シンポの会計報告があった。
4. 河田行事幹事より、第15回年会・合同シンポの参加者状況(556名)に関する報告があった。続いて実行委員会反省会の議事録と企業展示出展社アンケートが提出され、次回に申し送る旨の説明があった。
5. 河田行事幹事より、第16回年会・合同シンポはSPring-8がホストで、場所はイーグレひめじ(姫路市)、会期は2003年1月9日(木)~1月11日(土)であることが報告された。また、組織委員長(河田 洋/KEK、行事幹事)、プログラム委員長(石川哲也/理研)、実行委員長(鈴木芳生/JASRI)実行副委員長(木村洋昭/JASRI)が決まり、現在、各委員会がその構成を検討中である旨の説明があった。
6. 平谷渉外幹事より学術会議第19期会員の選出に係わる第18期学術研究団体の登録について、報告があった。各評議員には、登録の手続きに必要な役員カードへの記入(事務局より郵送)への協力が要請された。また、本学会から推薦する第19期会員候補者については、届出の締切が平成15年2月であることから、次回評議員会以降、検討することとした。
7. 平谷渉外幹事より科研費審査委員について、学術会議物研連および結晶研連から依頼があったので、本学会として審査委員候補者を推薦した旨の報告があった。
8. 平谷渉外幹事よりWDC11への登録に関する結晶学会会長からの依頼について説明があり、太田会長より各評議員の周辺の方々はこのことを知らせて欲しいという要請があった。曾田編集幹事より名簿登録の時期には間に合わないが、学会誌にはこれを掲載する旨の補足説明があった。
9. 平谷渉外幹事より、学振とKEKの主催で本年10月21日~11月1日にアンマン市(ヨルダン)で開かれるアジア学術セミナー(放射光加速器およびその利用)について説明があり、学会誌やホームページに案内記事を載せることとした。

(その他)

1. 太田会長より、昨年の評議員会で議論があった名誉会員の決め方について、今後はどのようにしたらよいのか、意見を聞かせて欲しいという要請があり、出席評議員より会長主導型

でやればよいという意見が出た。

2. 次回評議員会は8月頃に開催する方向で、庶務幹事より日程のアンケートをとることとした。

会員異動

《正会員入会》

小林 寿夫 (姫工大・物質科学)
石田 行章 (東大・院・理・藤森研) (学生)
田中 清尚 (東大・院・理) (学生)
吉良 爽 (JASRI)

稲田 康宏 (名大・物質科学国際研究センター)
五十嵐潤一 (原研・放射光)
馬場 輝久 (東大物性研) (学生)
斎藤 智彦 (東理大・応用物理)
吾郷日出夫 (理研・構造生物物理)
石井 賢司 (原研・放射光)
西堀 英治 (名大)
天野 壮 (姫工大・高度産業研)
江田 茂 (佐賀大・シンクロトロン光応用研究センター)
加藤 健一 (JASRI)

在庫書籍紹介

各書籍の内容につきましては、学会ホームページ
(<http://www.ijnet.or.jp/JSSRR/>) をご覧下さい。

ご購入方法：申込書に必要事項をご記入の上、学会
事務局まで FAX または E-MAIL にてご送信ください。

申込先：日本放射光学会事務局

TEL : 03-5950-4896 FAX : 03-5950-1292

E-MAIL : jssrr@kk.ij4u.or.jp

在庫書籍購入申込書 FAX: 03-5950-1292

書籍名：

冊数：

申込者名：

送付先：〒

TEL

ご請求先：(お申込者と異なる場合、ご記入ください。)

- **Topical Symposia Synchrotron Radiation Part 1**
Status and Prospects of Compact Synchrotrons
— May we expect their turn for lithography? —
Jan. 29-30, 1991 in Tsukuba ¥2,000

- **中型放射光施設計画に関する調査報告書**
1991年4月 ¥2,000

- **放射光科学講習会**
— 放射光リングからの高輝度 X 線、紫外線の利用 —
平成4年5月9日 仙台市民会館 ¥2,000

- **放射光フォーラム'93 放射光が拓くミクロの世界**
平成5年1月22日 学習院大学百周年記念会館 ¥2,000

- **放射光フォーラム'93 界面の世界に"光"をあてる!**
平成5年11月5日 東京大学山上会館 ¥2,000

- **SYNCHROTRON RADIATION FACILITIES**
IN ASIA May.13.1994 in Kobe ¥2,000

- **Proceedings of the International Workshop**
Generation and Application of Coherent X Rays
Edited by Shigeru YAMAMOTO (KEK-PF)
Feb.29-Mar.1, 1996 in KEK, Tsukuba ¥2,000 + 送料 ¥500

- **放射光フォーラム'94 放射光化学の最先端**
平成6年12月5日 東京工業大学百年記念館 ¥2,000

- **放射光学会 10 周年フォーラム**
放射光によって映し出される世界
1998年10月30日 学習院大学 ¥2,000

- **日本放射光学会シンポジウム資料集**
「21 世紀の放射光研究施設は？」
2001年10月11日 東京大学 (本郷) ¥2,000

- **第 15 回日本放射光学会年会・合同シンポジウム予稿集**
2002年1月11-13日 東京大学物性研究所, 東葛功[®]サ
¥2,000